

第69期 事業報告書

当年度の事業概要を次の通り報告いたします。

(2019年6月1日より2020年5月31日まで)

1. 自然科学関連知識の普及及び啓蒙

- 「サイエンスカフェ」は実施には至らなかった。
- 「自然科学書協会講演会」は第70期以内での開催に向けて、講師、講演内容、開催日時・場所等を準備・検討する。

2. 自然科学関連図書等の国内外への広報及び普及

- 文字・活字文化推進機構等の活動に協調し、日本書籍出版協会(以下書協)をはじめとする出版界各団体が主催する諸事業に協力した。
- 「自然科学書フェア2019」を開催した。
 - ・期日:2019年5月11日(土)～7月15日(月)
 - ・会場: 未来屋書店 りんくう泉南店
 - ・テーマ:「知識がひろがる 未来がひらける 自然科学書フェア」
 - ・参加社数:45社
 - ・出展点数:1,175点
 - ・出品冊数:1,584冊
 - ・売上:161点238冊658,085円
- 「自然科学書フェア2020」を開催した。
 - ・期日:2020年5月12日(火)～6月30日(火)
 - ・会場: ジュンク堂書店仙台TR店
 - ・テーマ:「未来への架け橋知識の泉 自然科学書フェア」
 - ・参加社数:43社
 - ・出展点数:1,129点
 - ・出品冊数:2,890冊
 - ・売上:253点389冊972,219円

○ブックフェア委員会(書協内)については特に進展はなかった。

○海外のブックフェアに出展し、会員社の出版物の普及を図った。

- ・「第26回北京国際図書展示会」(BIBF2019)

1社10冊まで1冊1,000円の出品補助金を出し、普及促進を図った。昨年同様出品社及び出品のない会員社の目録をブース内に陳列・配布を行った。前年の2ブースから1ブースとし、全点面展示した。版權の問合せが8件(前年5件)あった。

- ・期日:2019年8月21日(水)～25日(日)
- ・会場:中国新国際展覽センター

- ・参加社数:13社 (前年17社)
 - ・出品冊数:102冊(前年152冊)
 - ・「第71回フランクフルトブックフェア」(FBF2019)
- 今回より運営が出版文化国際交流会から日本書籍出版協会(トーハンに運営委託)へと移行した共同ブースに出品した。
- ・期日:2019年10月16日(水)～20日(日)
 - ・会場:フランクフルトメッセ
 - ・参加社数:14社(前年11社)
 - ・出品点数:38点(前年28点)

○和文名簿の内容を更新して当会ホームページで公開し、協会活動と出版活動の周知を図った。

○国際ブックフェアなどを通じて国内外の出版社などに協会活動の周知と翻訳出版活動への情報を提供するために英文名簿を作成した。

3. 著作権・著作隣接権等の普及と啓発

○著作権の保護並びに著作物の適正利用を推進する活動を行った。

- ・一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会 SARTRASやその構成団体である出版教育著作権協議会に参加し、改正著作権法第35条の施行に向けた準備活動を行った。
- ・新型コロナウイルス感染蔓延の影響から緊急的に施行された改正著作権法第35条の適正運用に関する広報活動を当協会内外へ向けて行った。

○その他、著作権に関連した活動を行った。

- ・出版者著作権管理機構(JCOPY)の構成団体の一員として運営に協力した。

4. 自然科学の振興に功績のあった者及び自然科学書出版に特に貢献をした者の顕彰○
文部科学大臣表彰科学技術賞の推薦団体として会員社から当該表彰候補を募ったが、応募がなかったため推薦を見送った。

5. 出版文化向上のための研究会・講演会等の開催及び関連団体との交流

○東京都印刷工業組合出版メディア協議会主催の「第22回出版・印刷人の集い」に出版梓会と共に協賛し、講演会を開催した。

- ・日時:2019年11月5日(火)16:00～17:30
- ・会場:出版クラブホール・会議室
- ・講師:櫻澤 博文 氏(合同会社 パラゴン 代表社員)
- ・演題:「メンタル産業医がひも解く働き方改革関連法への対応」

○当協会主催で、下記の研修会を開催した。

- ・日時:2019年9月25日(水)15:00～17:00

- ・会場:ベルサール神保町
- ・講師:金原 優 氏(株式会社 医学書院会長、JCOPY運営委員長、出版教育著作権協議会理事長、SARTRAS理事)
- ・演題:「改正著作権法第35条への対応と教育利用向けライセンスについて」
- ・参加者:73名

※出版粋会との共催

- ・日時:2019年12月5日(木) 16:30~17:30 ・会場:
如水会館1階如水コンファレンス
- ・講師:丸島 基和 氏(株式会社新文化通信社)・演
題:「出版業界よもやま話」
- ・参加者:26社・52名

6. 機関紙・図書等の編集発行及びホームページの管理運営

○会報を電子化し年3回(今年度は11・2・5月)発行した。また、ホームページでも公開した。

主な記事は

- ① 理事会の動向や決定の周知
- ② 各専門委員会活動の報告
- ③ 講演会の要約
- ④ 自然科学書フェアの告知ならびに報告
- ⑤ 国際ブックフェアの告知ならびに報告

○ホームページを常に最新の状態にして、外部への情報発信を行った。

・協会の概要を掲載し、常に更新した。

7. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

○2019年10月1日に消費税率が10%に上がり、出版物へも適用された。引き続き日本書籍出版協会と連携し、出版物に対する軽減税率適用に向けて働きかけを継続していく。○出版界で行う諸事業(全出版人大会の開催、出版平和堂の活動など)に協力した。

・2020年5月8日(金)にホテルニューオータニで開催予定であった第59回全出版人大会は、新型コロナウイルスの感染状況から開催が見送られたが、次年度も協賛団体として引き続き協力する。

・2019年10月4日(金)に、出版平和堂第51回出版功労者顕彰会が執り行われ、出版平和堂維持団体として運営に協力した。

○今期の活動状況を業界紙等に報道依頼し、活動並びに存在意義を広く告知した。

以 上

事業報告附属明細書

該当なし